



2010年3月期 中間決算説明会

大太平洋金属株式会社

2009年11月20日

ホームページURL : <http://www.pacific-metals.co.jp>

お問い合わせ先 : 総務部(IR担当)

TEL : 03-3201-6681

目 次

I 10.3期中間決算及び10.3期通期見通し


- ◆10.3期 中間決算
 - 1.概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
 - 2.ニッケル事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
 - 3.連結経常損益の分析〔08.9実績対09.9実績〕・・・・・・・・5
- ◆10.3期 通期見通し
 - 1.概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
 - 2.ニッケル事業通期見通し・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
 - 3.国別販売見通し〔09.3実績対10.3予想(新)〕・・・・・・・・8
 - 4.連結経常損益の分析〔09.3実績対10.3予想(新)〕・・・・9

II ニッケル需給について

- ◆ニッケル需給について
 - 1.LMEニッケル価格(CASH)とLMEニッケル在庫数量推移・・11
 - 2.世界のステンレス生産とニッケル需給・・・・・・・・・・・・12
 - 3.地域別ステンレス・ニッケル需給見通し・・・・・・・・・・・・13
 - 4.ニッケル生産新規・既存プロジェクトの状況・・・・・・・・14

III 経営課題への取組み

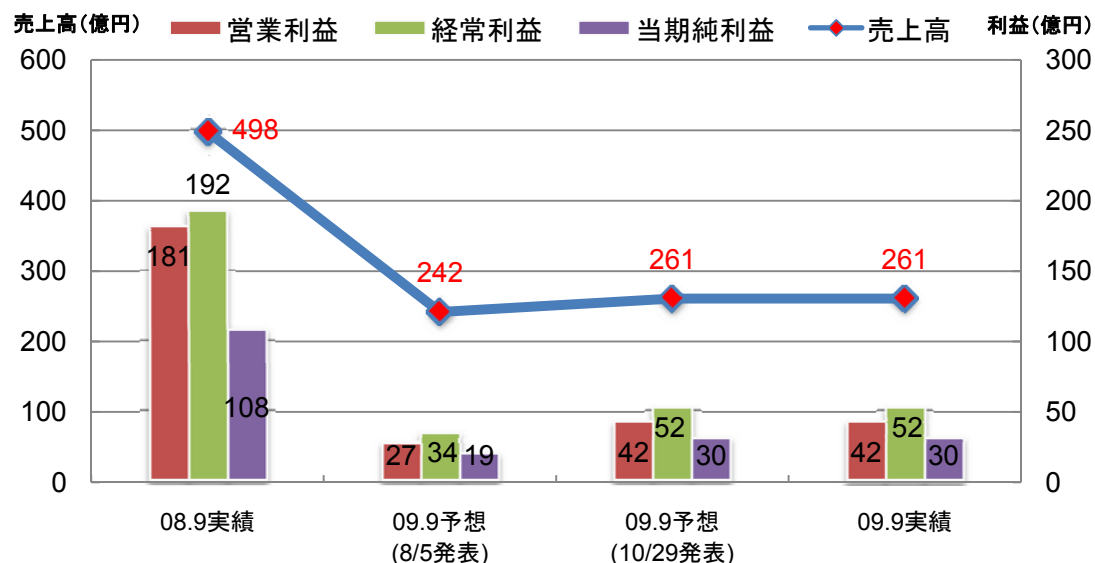
- ◆当面の成長のシナリオ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
- ◆投資内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
- ◆安定した鉱石調達への取組み
 - 1.ニッケル鉱石安定調達策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
 - 2.湿式製錬への取組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19



**I 10.3期中間決算
及び
10.3期通期見通し**

◆10.3期 中間決算

1.概要

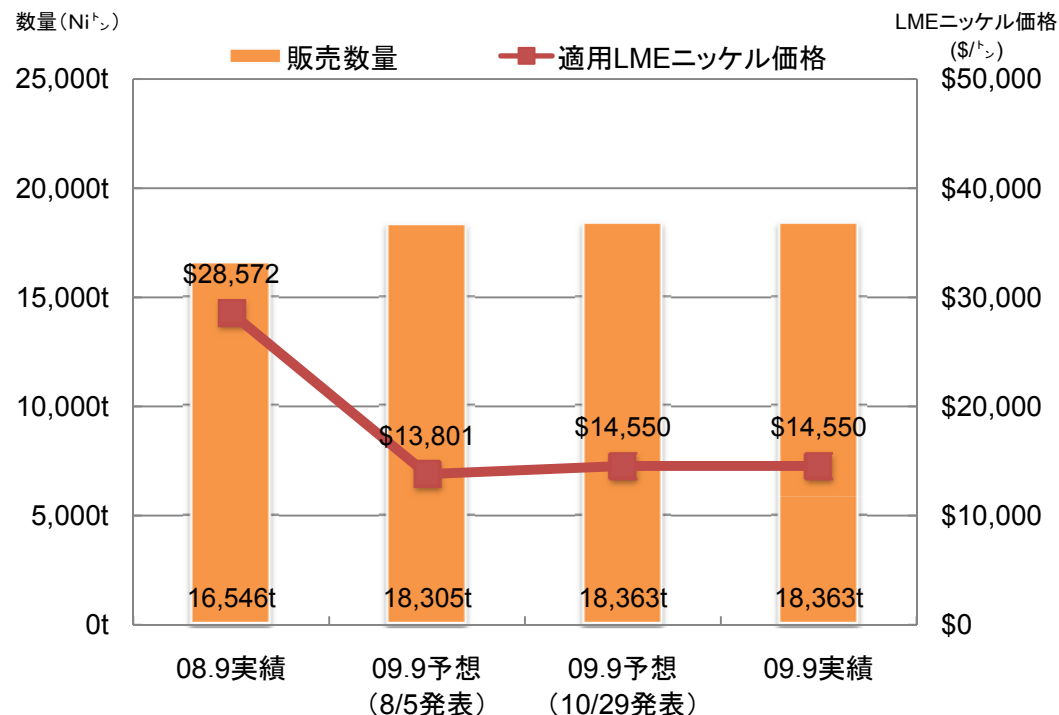


◇ ニッケル事業
中国の景気刺激策の効果によりステンレス需要が回復、その影響からアジアのニッケル需要は持ち直した。

◇ その他の事業
電力卸事業の売上高及び営業利益が順調であり、売上高が前年同期比21.6%の増収。

金額単位: 百万円	08.9実績		09.9予想(8/5発表)		09.9予想(10/29発表)		09.9実績			対前年同期比 (%)	対8/5発表予想比 (%)
	金額	利益率	金額	利益率	金額	利益率	金額	利益率	構成比率		
売上高	49,816	-	24,272	-	26,112	-	26,112	-	100.0	△47.6	7.6
ニッケル事業	49,128	-	-	-	-	-	25,256	-	96.7	△48.6	-
その他の事業	775	-	-	-	-	-	943	-	3.6	21.6	-
連結に伴う調整	△87	-	-	-	-	-	△87	-	△0.3	-	-
営業利益	18,162	36.5	2,778	11.4	4,246	16.3	4,246	16.3	100.0	△76.6	52.8
ニッケル事業	18,303	37.3	-	-	-	-	4,225	16.2	99.5	△76.9	-
その他の事業	△151	△19.5	-	-	-	-	9	0.0	0.2	-	-
連結に伴う調整	11	-	-	-	-	-	12	0.0	0.3	10.6	-
経常利益	19,244	38.6	3,421	14.1	5,253	20.1	5,253	20.1	-	△72.7	53.6
当期純利益	10,885	21.9	1,965	8.1	3,034	11.6	3,034	11.6	-	△72.1	54.4
(設備投資額)	5,413	-	-	-	-	-	6,216	-	-	-	-
(減価償却費)	1,619	-	-	-	-	-	1,663	-	-	-	-

◆10.3期 中間決算
2.ニッケル事業

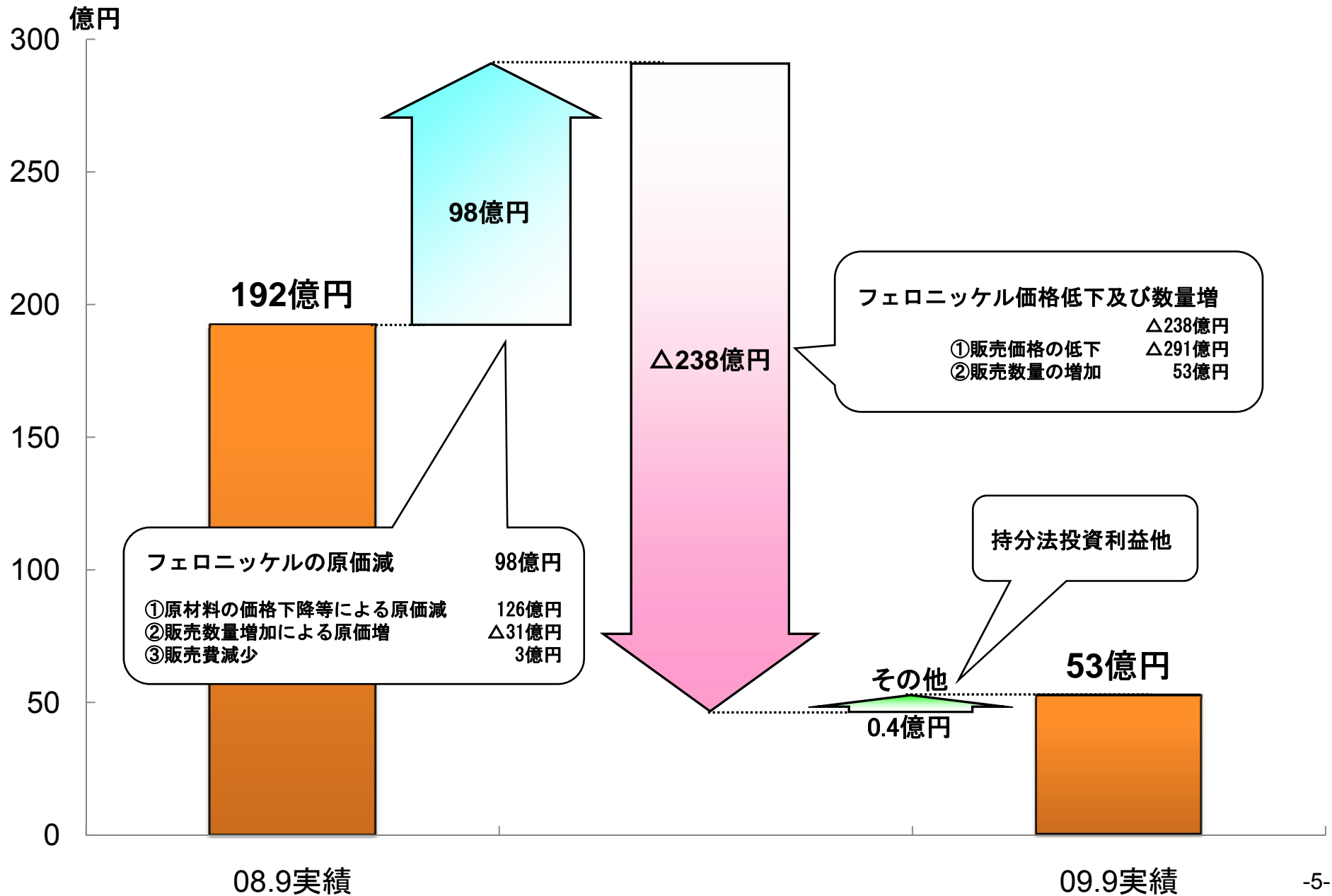


TOPICS

- ① 販売数量
ステンレス鋼業界の在庫調整が進展。その影響によりニッケル業界にも回復が見られた。国内向けは前年同期比大幅減少、輸出向けは増加し、全体では前年同期比11%増加の18,363⁺トン。
- ② 適用LMEニッケル価格
LMEニッケル相場のニッケル在庫が10万トンを超え、ニッケル需給は供給過剰の状態。当社適用LMEニッケル価格は、前年同期比49.1%減となり、トン当たり14,550ドル、ポンド当たり6.6ドル。
- ③ 適用為替
為替は94.87^{¥/\$}と前年同期比11.09^{¥/\$}の円高となり、販売価格を押し下げ。

	08.9実績	09.9予想 (8/5発表)	09.9予想 (10/29発表)	09.9実績	対前年同期比 (%)	対8/5発表 予想比 (%)
販売数量 (Ni ⁺ t)	16,546	18,305	18,363	18,363	11.0	0.3
適用LME (\$/t)	28,572	13,801	14,550	14,550	△49.1	5.4
【適用LME (\$/lb)】	【12.96】	【6.26】	【6.60】	【6.60】	—	—
適用為替 (¥/\$)	105.96	93.70	94.87	94.87	—	—

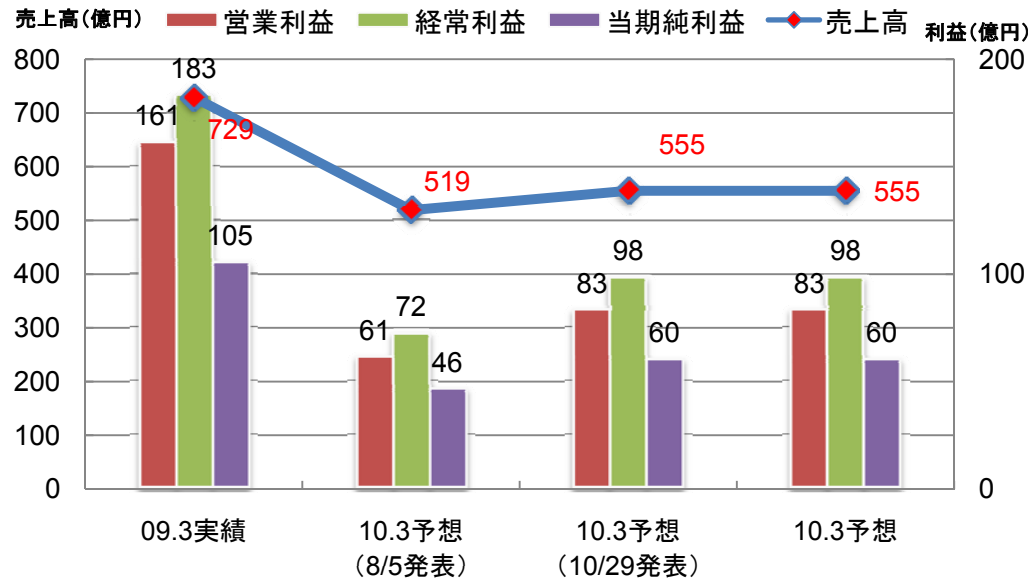
◆10.3期 中間決算
3.連結経常損益の分析〔08.9実績対09.9実績〕



◆10.3期 通期見通し

1.概要

～厳しい経営環境の中、販路拡大、投資抑制で収益を確保～



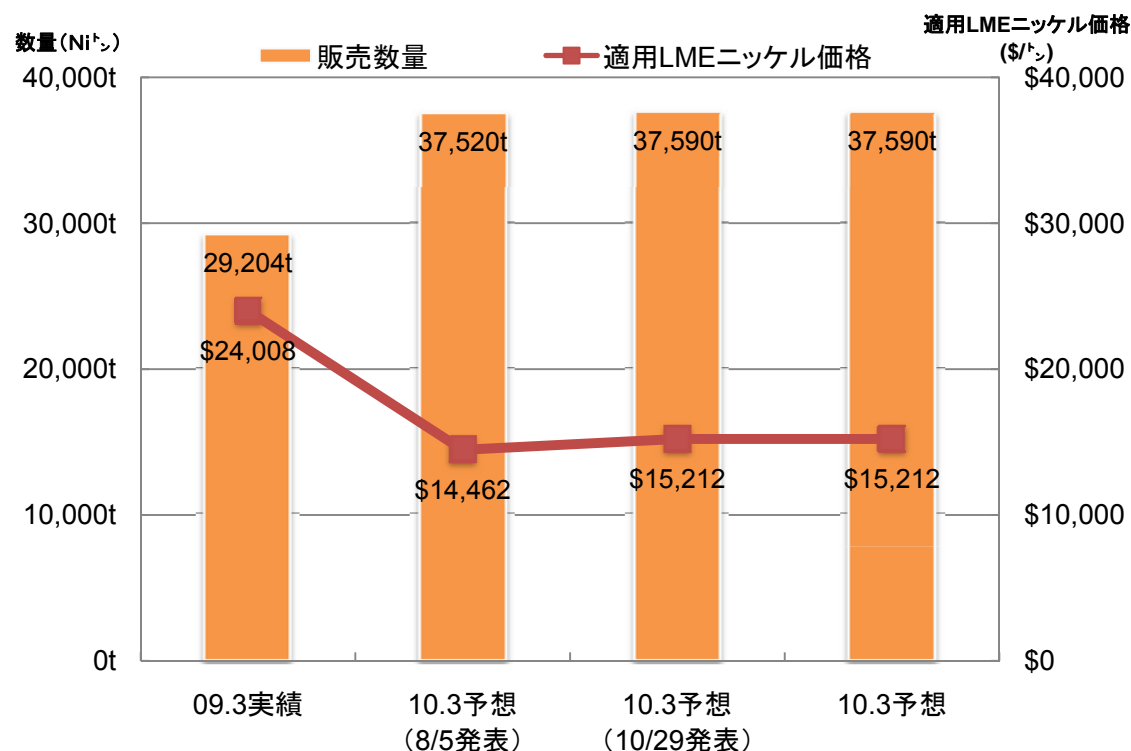
- ◇ ニッケル事業・・・中国景気刺激策の影響により景気底入れの傾向はみられたものの、先行き不透明な状況であり、依然として厳しい環境は続く。
- ◇ その他の事業・・・廃棄物リサイクル事業等は不振であったが、電力卸事業が順調に推移。

金額単位:百万円	09.3実績		10.3予想(8/5発表)		10.3予想(10/29発表)		10.3予想(新)			対前期比 (%)	対8/5発表 予想比(%)
	金額	利益率	金額	利益率	金額	利益率	金額	利益率	構成比率		
売上高	72,976	—	51,967	—	55,512	—	55,512	—	100.0	△23.9	6.8
ニッケル事業	71,154	—	—	—	—	—	53,767	—	96.9	△24.4	—
その他の事業	1,998	—	—	—	—	—	1,918	—	3.4	△4.0	—
連結に伴う調整	△176	—	—	—	—	—	△173	—	△0.3	—	—
営業利益	16,169	22.2	6,120	11.8	8,327	15.0	8,327	15.0	100.0	△48.5	36.1
ニッケル事業	16,262	22.9	—	—	—	—	8,265	15.4	99.3	△49.2	—
その他の事業	△108	△5.5	—	—	—	—	40	2.1	0.5	—	—
連結に伴う調整	15	—	—	—	—	—	22	—	0.2	—	—
経常利益	18,388	25.2	7,257	14.0	9,899	17.8	9,899	17.8	—	△46.2	36.4
当期純利益	10,532	14.4	4,640	8.9	6,045	10.9	6,045	10.9	—	△42.6	30.3
(設備投資額)	11,321	—	—	—	—	—	9,581	—	—	—	—
(減価償却費)	3,238	—	—	—	—	—	3,902	—	—	—	—

◆10.3期 通期見通し

2. ニッケル事業通期見通し

～中国向け販売数量が前期に比べ大幅増～



TOPICS

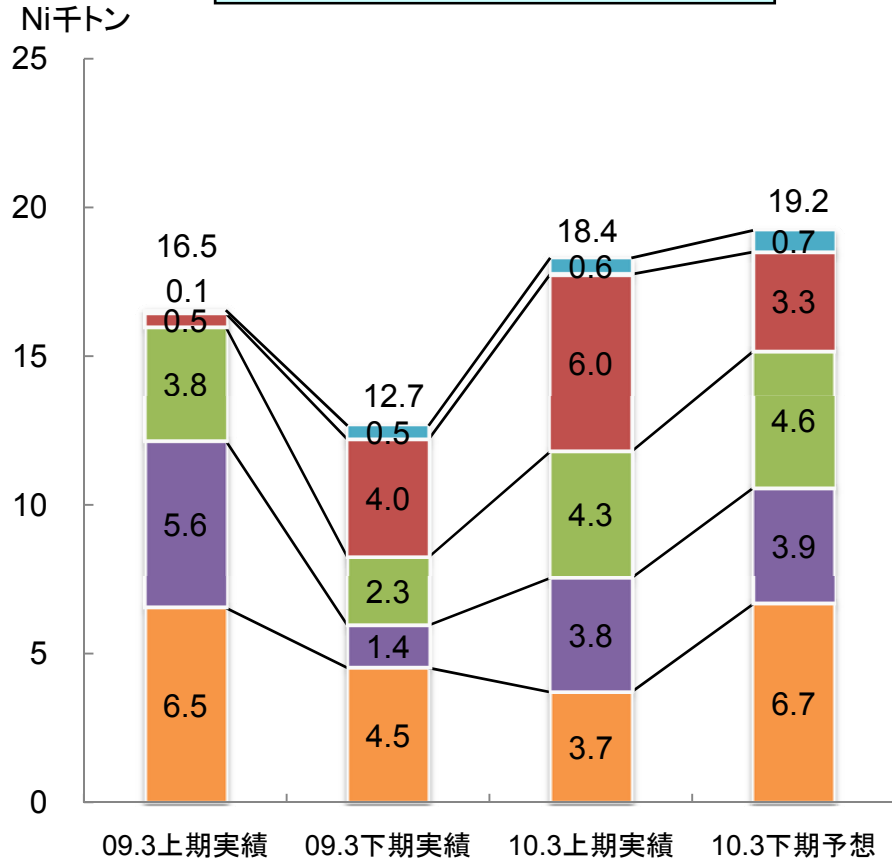
- ①販売数量
中国ステンレス鋼需要の回復により、フェロニッケル販売数量は堅調に推移すると予想し、前期比28.7%増の37,590tを見込み。
- ②適用LMEニッケル価格
適用LMEニッケル価格が第2四半期より回復し、第3四半期以降も堅調に推移すると見込む。前期比36.6%減の15,212\$/tとなり、販売価格もダウンの見込み。
- ③適用為替
為替は92.79¥/\$と前期比9.65¥/\$の円高となり、販売価格を押し下げる見込み。

	09.3実績			10.3予想 (8/5発表)	10.3予想 (10/29発表)	10.3予想(新)			対前期比 (%)	対8/5発表予想比 (%)
	上期	下期	通期	通期	通期	上期	下期	通期	通期	通期
販売数量(Ni ⁺ t)	16,546	12,658	29,204	37,520	37,590	18,363	19,227	37,590	28.7	0.2
適用LME(\$/t)	28,572	18,034	24,008	14,462	15,212	14,550	15,895	15,212	△36.6	5.2
【適用LME(\$/lb)】	【12.96】	【8.18】	【10.89】	【6.56】	【6.90】	【6.60】	【7.21】	【6.90】	—	—
適用為替(¥/\$)	105.96	98.45	102.44	91.60	92.79	94.87	90.34	92.79	—	—

◆10.3期 通期見通し
3.国別販売見通し〔09.3実績対10.3予想(新)〕

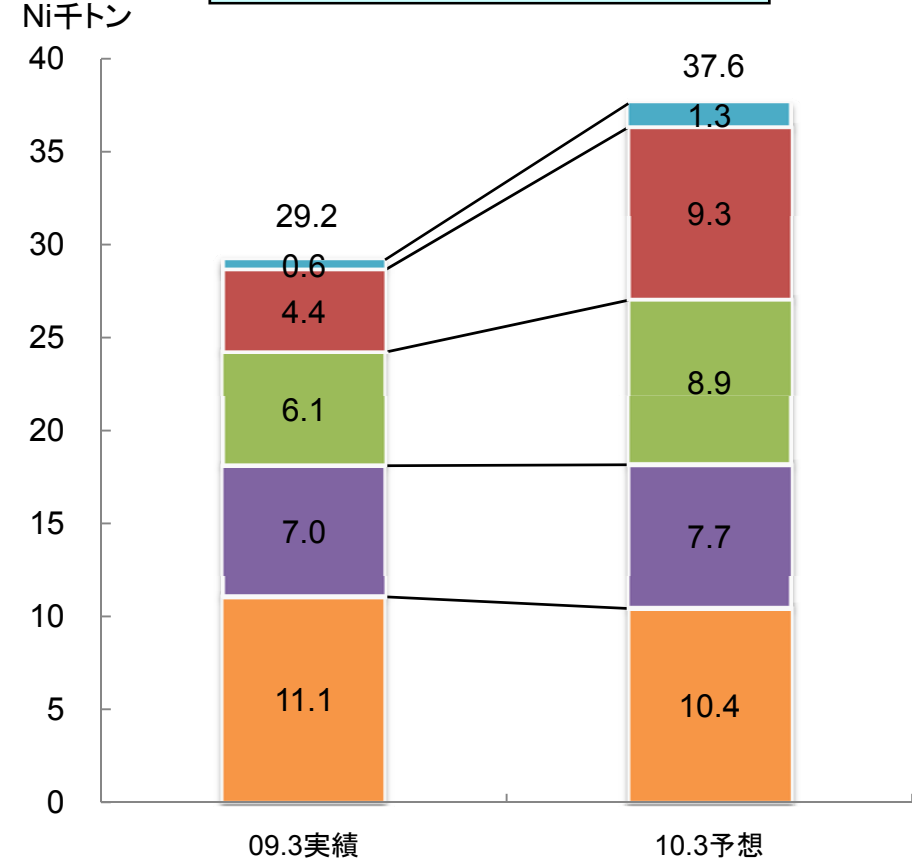
当社のフェロニッケル販売数量(国別)実績

09.3期実績～10.3期予想推移(半期)



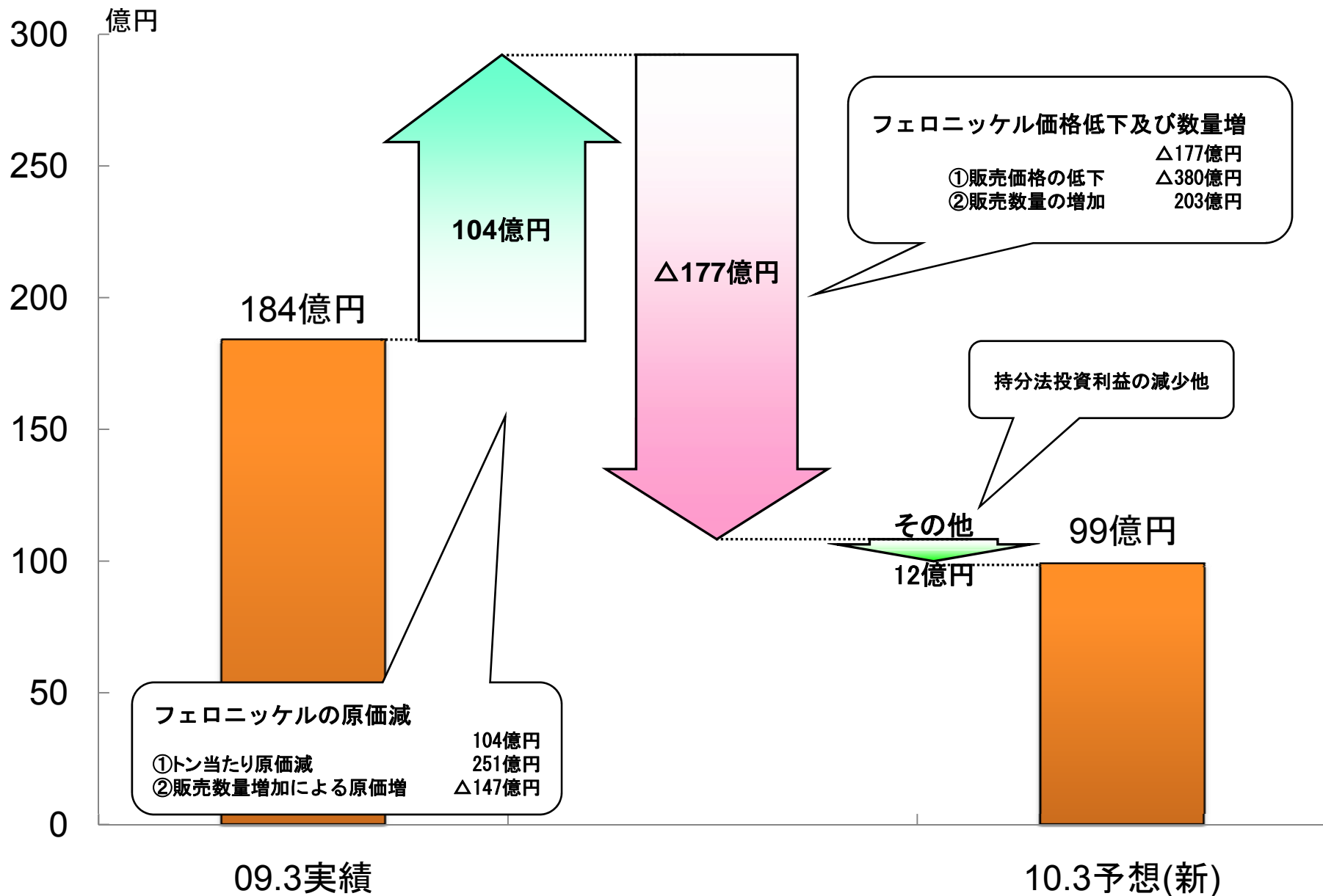
国内 韓国 台湾 中国 インド


09.3期実績～10.3期予想推移(通期)



国内 韓国 台湾 中国 インド

◆10.3期 通期見通し
4.連結経常損益の分析〔09.3実績対10.3予想(新)〕

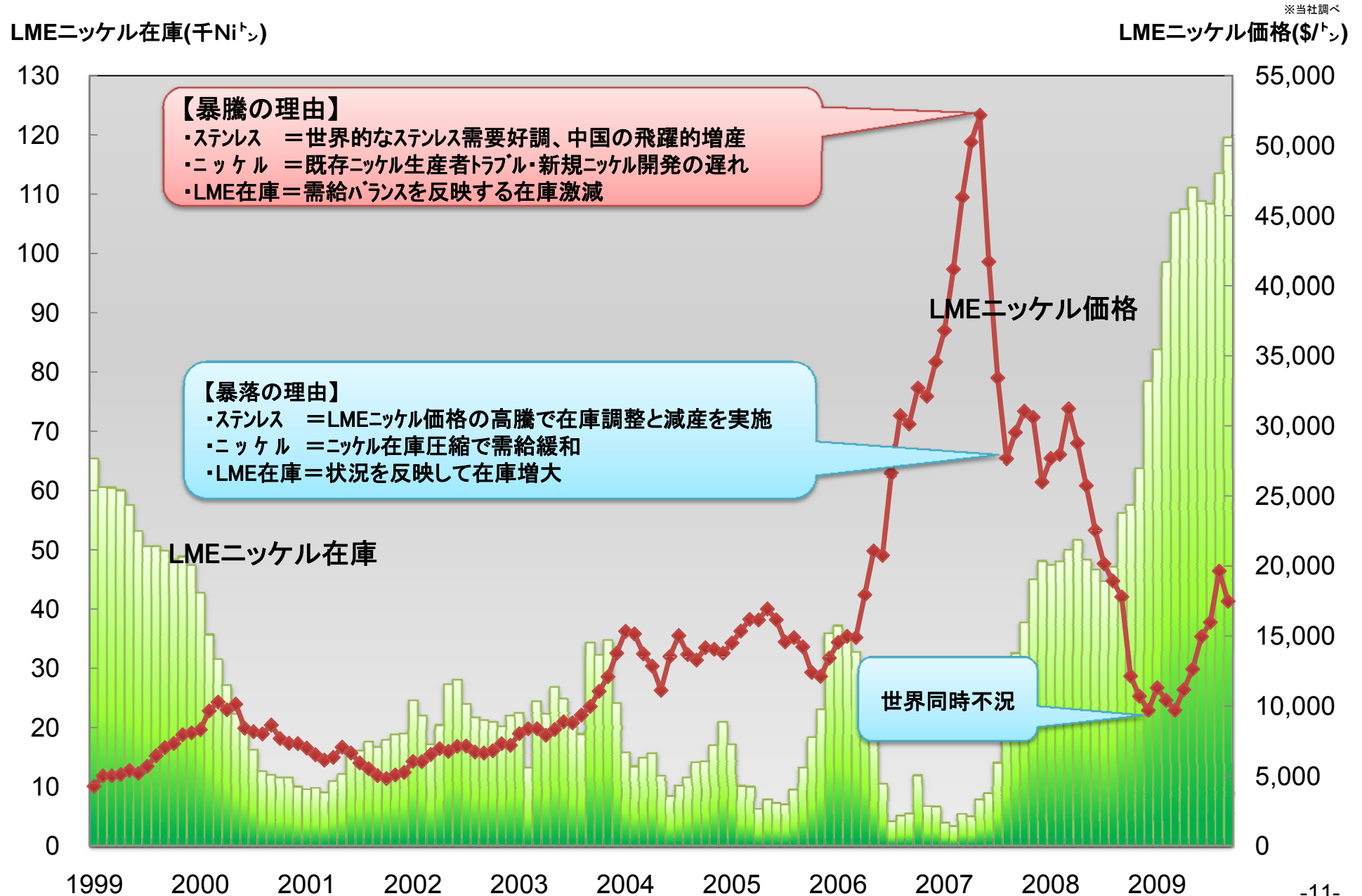




Ⅱ. ニッケル需給について

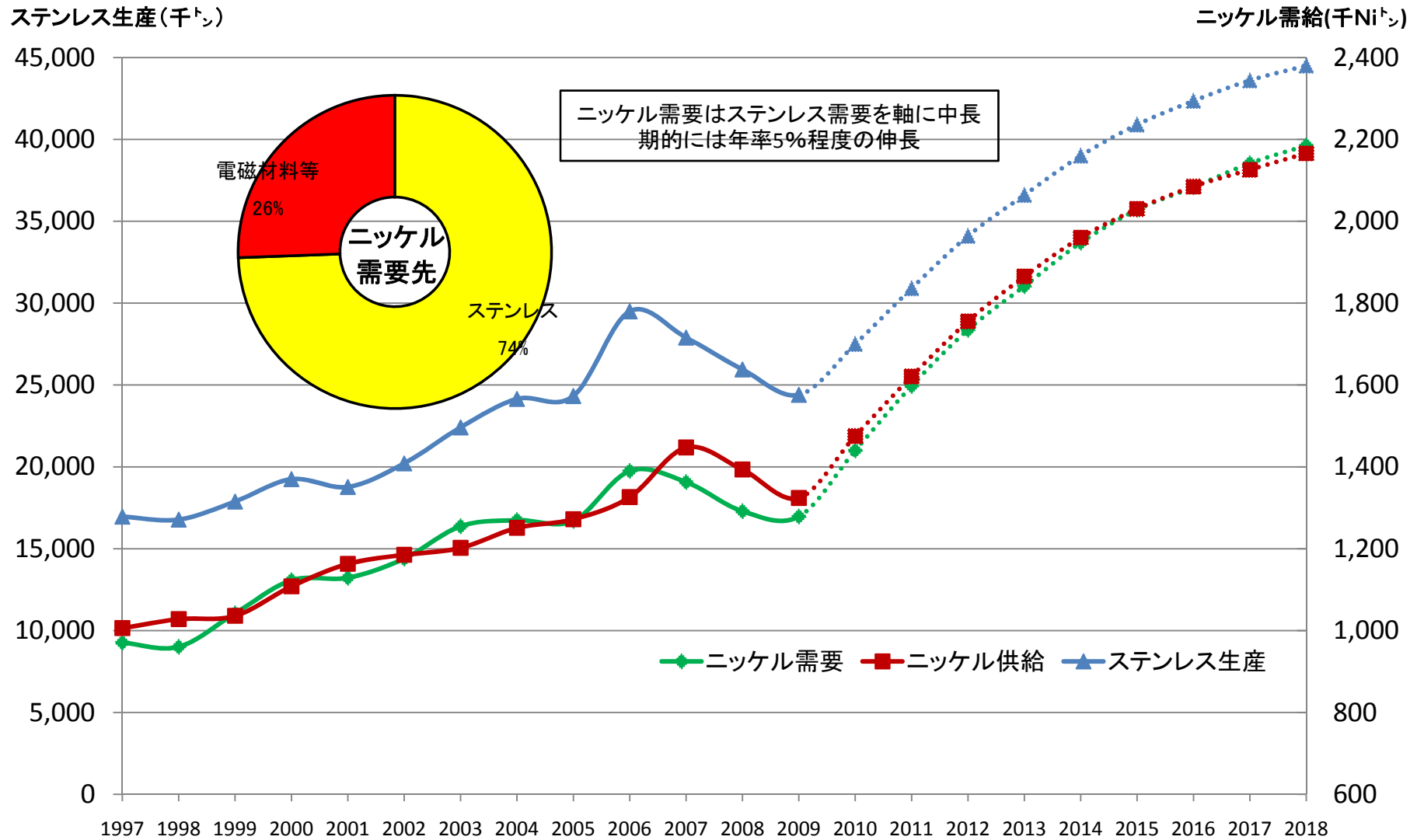
◆ニッケル需給について

1. LMEニッケル価格(CASH)とLMEニッケル在庫数量推移(1999年～2009年)



◆ニッケル需給について

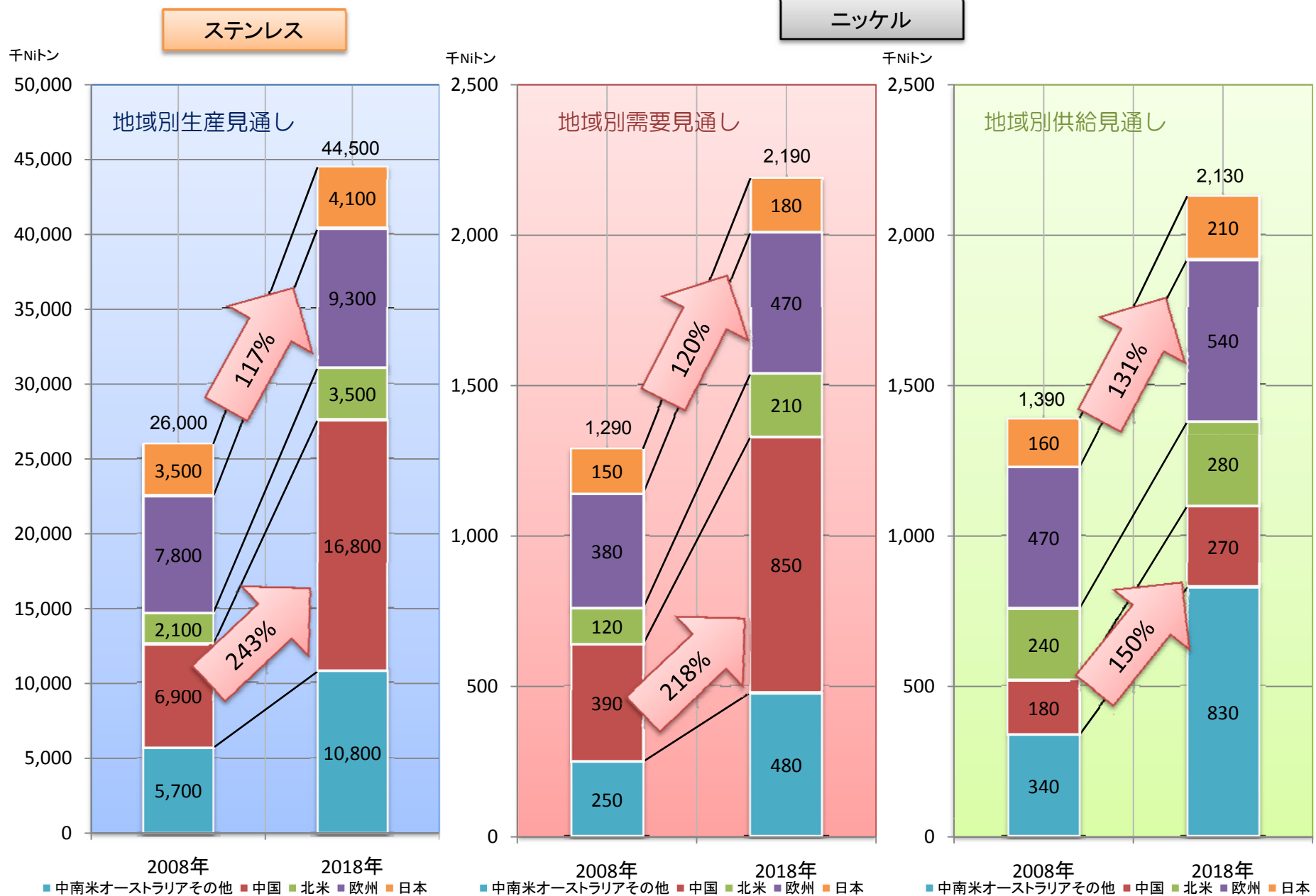
2. 世界のステンレス生産とニッケル需給



※当社調べ

◆ニッケル需給について

3.地域別ステンレス・ニッケル需給見通し



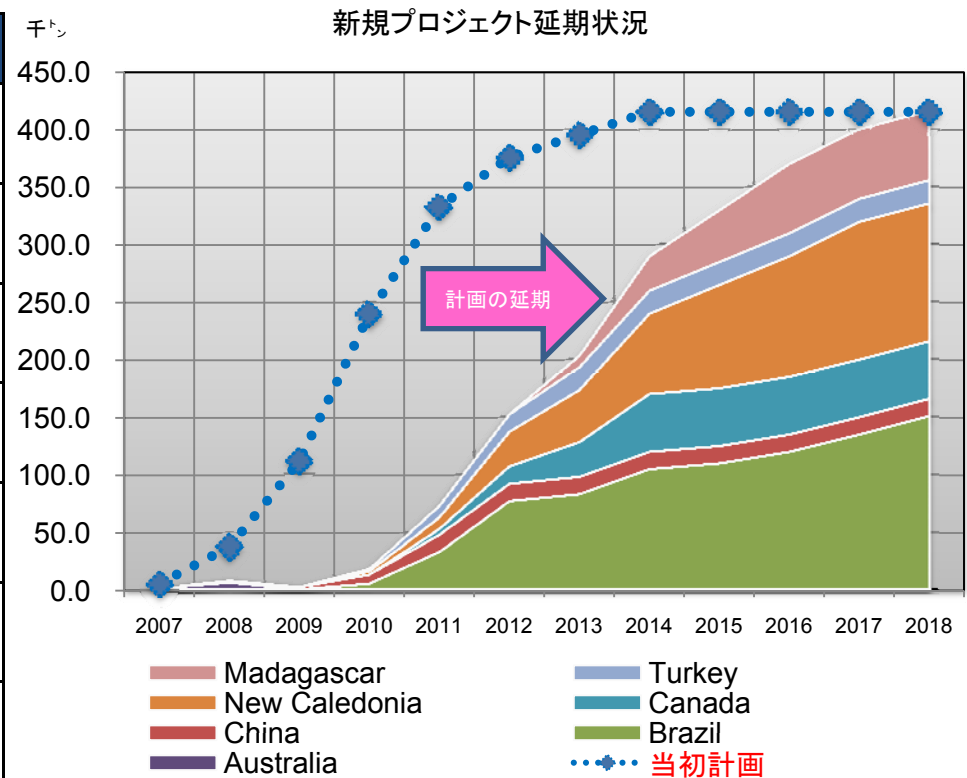
※当社調べ

◆ニッケル需給について

4.ニッケル生産新規・既存プロジェクトの状況

主要な新規プロジェクトの状況

国	プロジェクト名	当初計画稼働年次	現在計画稼働年次	概要
Brazil	Vale Onca-Puma	2008年	2010年	生産能力 58,000 ^{トン} (当初30,000 ^{トン})
Brazil	Anglo American Barro Alto	2009年	2011年	生産能力 35,000 ^{トン} (当初43,000 ^{トン})
Brazil	Vale-Vermelho	2008年	2014年	生産能力 46,000 ^{トン} (当初45,000 ^{トン})
Canada	Vale-Inco Voisey's Bay	2009年	2011年	生産能力 50,000 ^{トン}
New Caledonia	Koniambo	2007年	2010年	生産能力 60,000 ^{トン}
New Caledonia	Vale Inco Goro	2007年	2010年	生産能力 60,000 ^{トン}
Turkey	Caldag	2009年	2013年	生産能力 20,000 ^{トン} (当初15,000 ^{トン})



既存プロジェクトの主要な減産状況

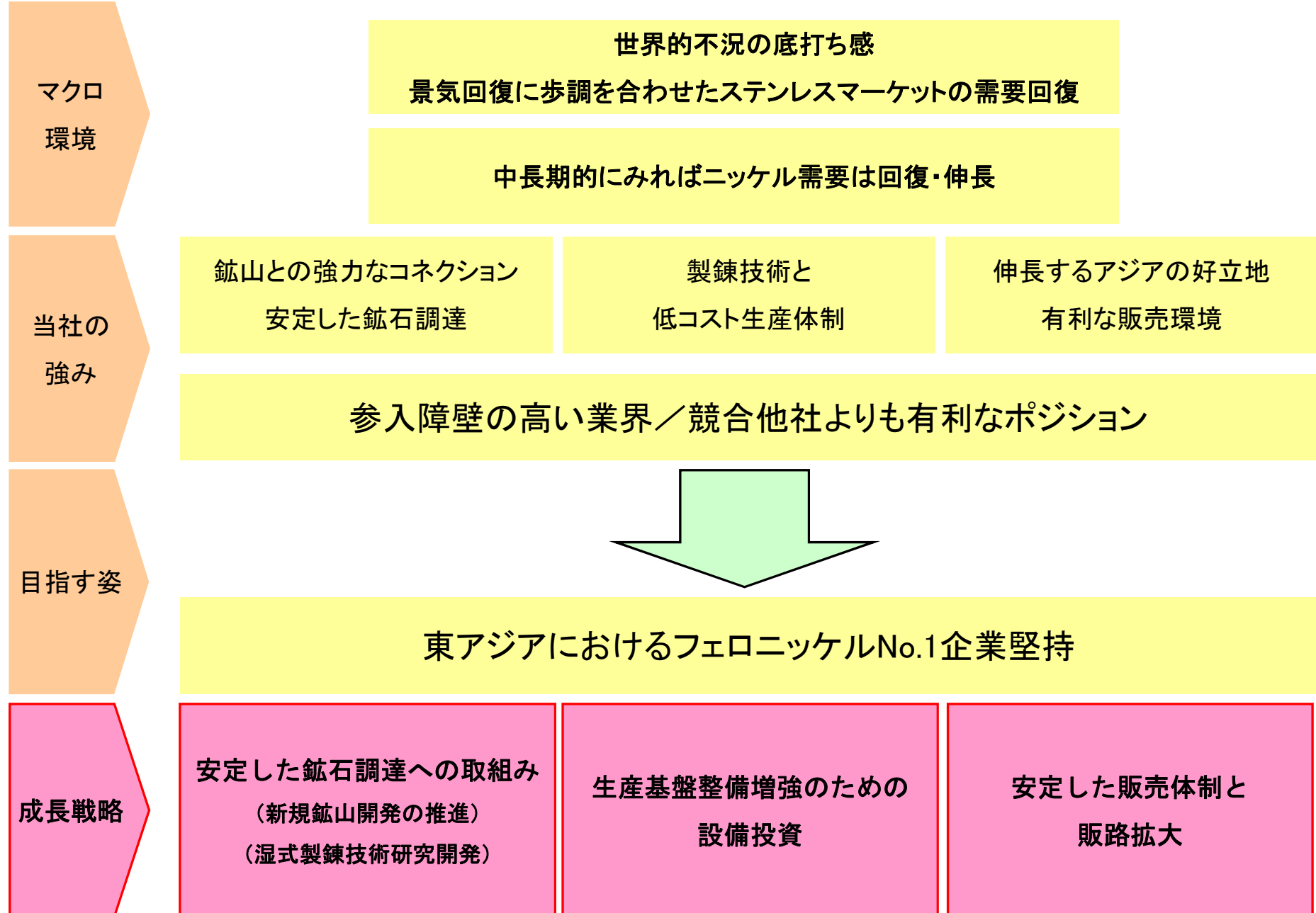
国名	生産者名	生産能力	09年見込	停止・減産時期	本稼動時期(予定)	状況等
RUSSIA	IMH/UFALE NICKEL	17,000 ^{トン}	4,000 ^{トン}	2008年10月	2012年	一時休止
JAPAN	VALE INCO/PT INCO	62,000 ^{トン}	54,000 ^{トン}	2008年10月	2012年	PT INCO増産
INDONESIA	PT ANTAM	26,000 ^{トン}	12,000 ^{トン}	—	2012年	第3電気炉稼動(2009年11月開始)
DOMINICA	XSTRATA/FALCONDO	30,000 ^{トン}	—	2008年8月	2013年	一時休止中(2010年再開予定)
CANAD	SHERRITT	49,000 ^{トン}	34,000 ^{トン}	—	2013年	鉱山・工場拡張(2011年迄に開始)
NEW CALEDONIA	ERAMET/SLN	60,000 ^{トン}	37,000 ^{トン}	2008年11月	2015年	鉱山・工場増強

※当社調べ



Ⅲ 経営課題への取組み

◆当面の成長のシナリオ

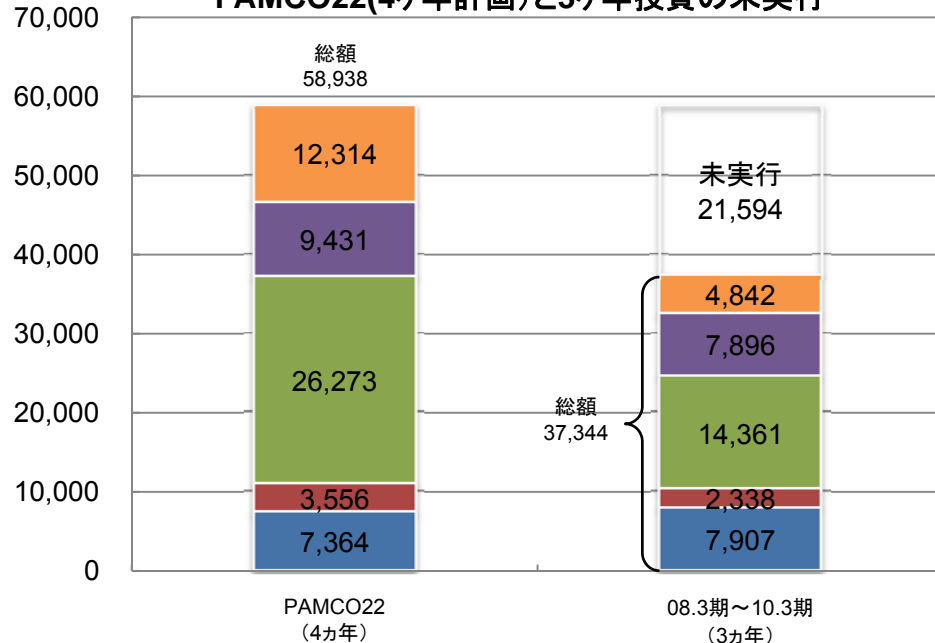


◆投資内容

～経営環境の変化に対応するため投資抑制を実施～

単位:百万円

PAMCO22(4ヶ年計画)と3ヶ年投資の未実行

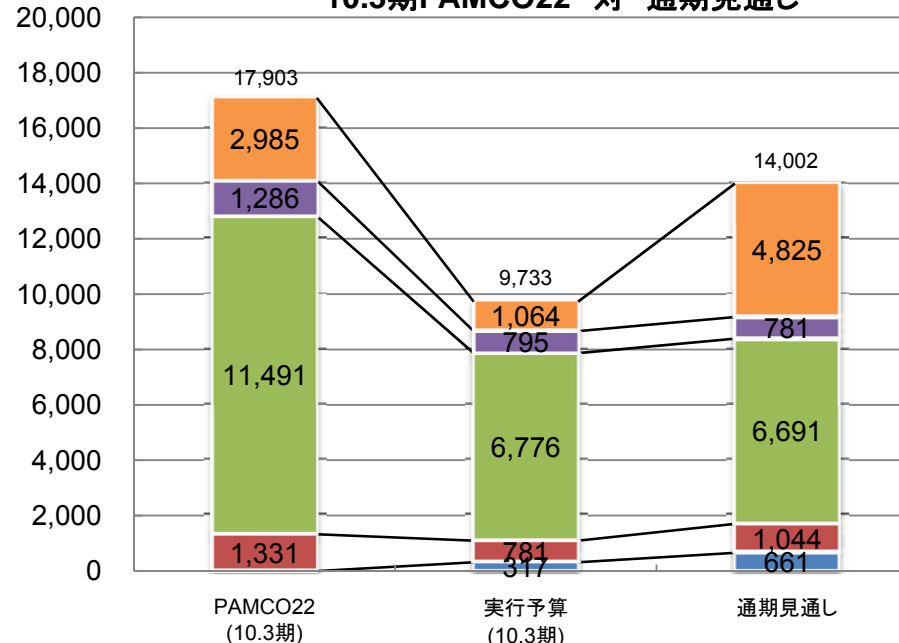


■ 鉱山開発 ■ 研究等 ■ 設備維持更新 ■ 環境対策 ■ 増産に係る

	PAMCO22(4ヶ年) と 3ヶ年投資の未実行		
	PAMCO22 (4ヶ年)	08.3期~10.3期 (2ヶ年実績+通期見通)	比較
増産に係る	7,364	7,907	543
環境対策	3,556	2,338	△1,218
設備維持更新	26,273	14,361	△11,912
研究等	9,431	7,896	△1,535
鉱山開発	12,314	4,842	△7,472
計	58,938	37,344	△21,594

単位:百万円

10.3期PAMCO22 対 通期見通し



■ 増産に係る ■ 環境対策 ■ 設備維持更新 ■ 研究等 ■ 鉱山開発

	PAMCO22(10.3期) 対 通期見通し			
	PAMCO22 (10.3期)	実行予算 (10.3期)	通期見通し	比較
増産に係る	1,331	317	661	661
環境対策	1,331	781	1,044	△287
設備維持更新	11,491	6,776	7,095	△4,396
研究等	1,286	795	781	△505
鉱山開発	2,985	1,064	4,825	1,840
計	17,093	9,733	14,406	△2,687

★TOPICS

- ◎3ヶ年進捗373億円(工事ベース)の投資を見込む
- ◎設備維持更新として見込んだ10.3期6号炉改修工事について未達工事67億円の投資を先送り
- ◎鉱山投資は複数のシッパーと調査探鉱中

◆安定した鉱石調達への取組み

1. ニッケル鉱石安定調達策

新規鉱山開発123億円(PAMCO22)

①長期購入契約締結（随時更新）

購入先	08年 3月期	09年 3月期	10年 3月期	11年 3月期	12年 3月期	13年 3月期	14年 3月期	15年 3月期	16年 3月期	
＜フィリピン＞ リオ・チバ・ニッケル社	08年1月～12年12月(5年間)									
＜フィリピン＞ タガニート社	01年1月～10年12月(10年間)									
＜インドネシア＞ アンタム社	07年6月～14年5月(7年間)									
＜ニューカレドニア＞ モンタニア社	06年4月～16年3月(10年間)									

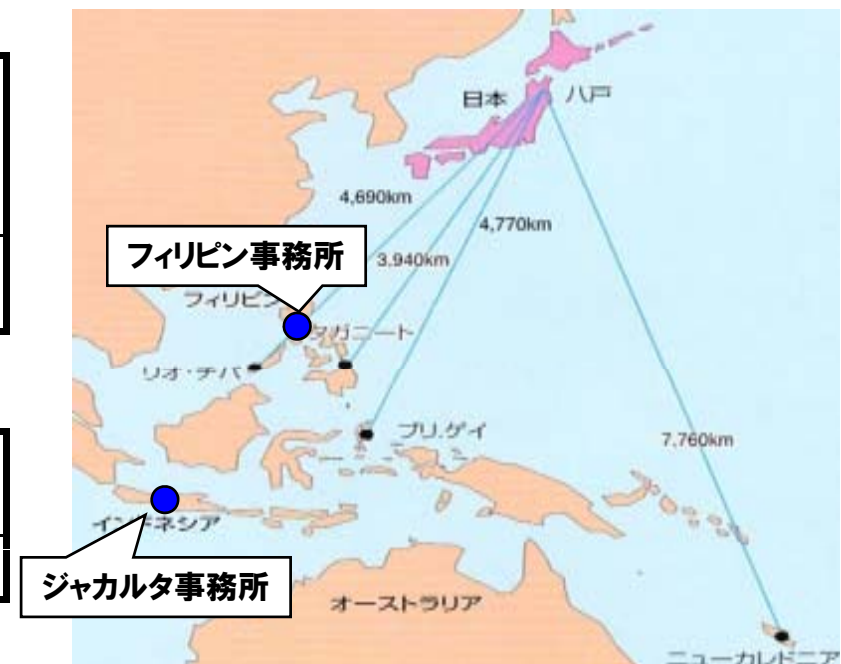
②鉱山開発及び操業に関する技術協力

＜フィリピン＞	<p>リオ・チバ・ニッケル社とは、既に探鉱・開発対象となる新たな鉱区を決定済み。 リオ・チバ・ニッケル社およびタガニート社等と共同で進行中。</p>
＜インドネシア＞	<p>アンタム社が鉱山開発を行い、開発後の安定した鉱山操業のための技術協力を実施。</p>

③鉱山会社への出資

＜フィリピン＞	<p>リオ・チバ・ニッケル社:36% タガニート社 :33.5%</p>
＜インドネシア＞	<p>アンタム社:若干の出資(インドネシア政府65%)</p>

＜フィリピン・ジャカルタ事務所＞



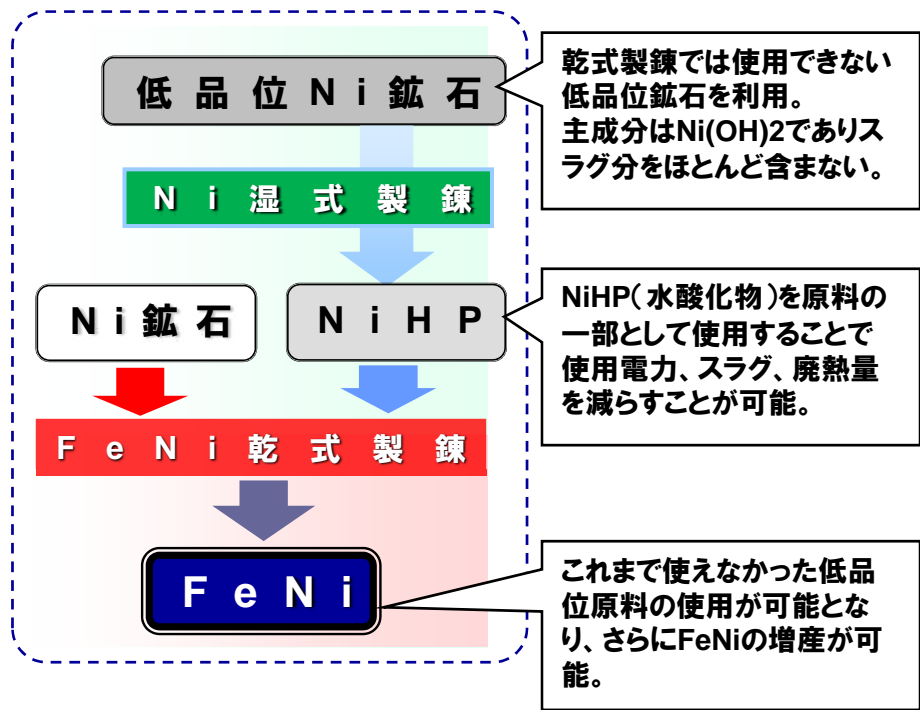
◆安定した鉬石調達への取り組み

2.湿式製錬への取組み

八戸製造所にパイロットプラント建設等88億円

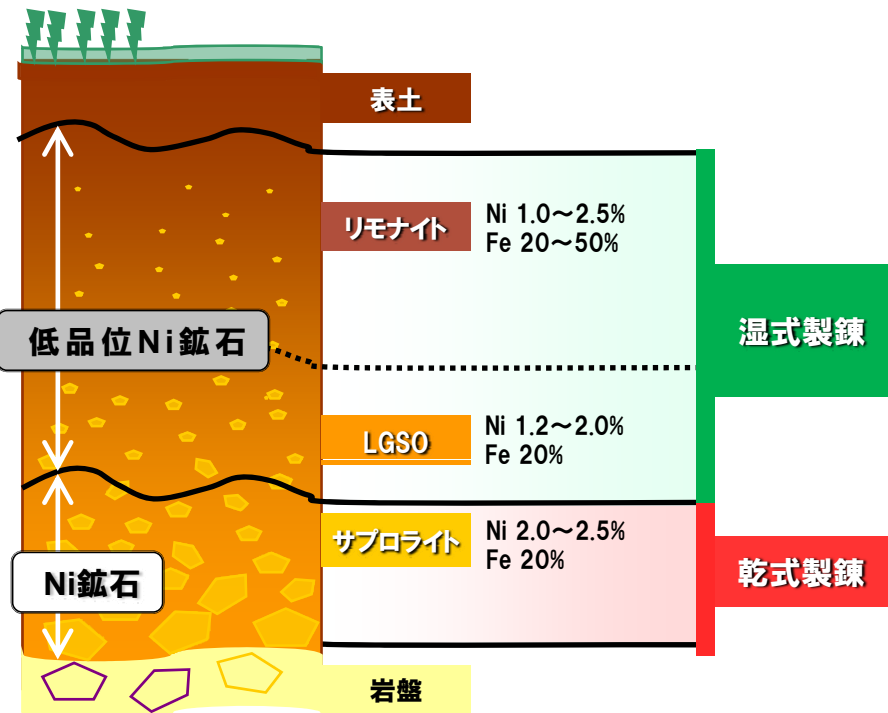
湿式製錬とは、化学処理によるニッケルの濃縮・抽出方法。
 現地山元で湿式製錬し、品位を上げた中間産品を八戸で乾式製錬することにより低品位鉬石を活用可能。

①位置付け



③パイロットプラント進捗状況

②酸化ニッケル鉬石別精錬法



~2010年夏~
鉬石投入による試験操業開始

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予想等については、現時点で入手された情報に基づくものであり、今後、発生する状況の変化により実際と異なる結果となることがあります。

従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願いいたします。

本資料を利用した結果として生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に関する著作権、商標権その他すべての知的財産権は、当社に帰属します。